

## 秋田大学 AI 研究推進センター開所式にて『eve auto』デモ走行実施

株式会社 eve autonomy（静岡県袋井市、代表取締役：星野 亮介、以下「eve autonomy」）は、東日本電信電話株式会社秋田支店（支店長 澤村 誉 以下、「NTT 東日本 秋田支店」）と国立秋田大学（学長 山本 文雄 以下、「秋田大学」）が構築する産学共同のローカル 5G を活用した検証環境の提供開始に伴い、3月18日(月)に開催される秋田大学 AI 研究推進センター開所式にて、屋外無人搬送サービス「eve auto」のデモンストレーション走行を実施いたします。

### ■秋田大学でのローカル 5G 検証環境構築の目的

ローカル 5G は、企業や自治体で建物や敷地でスポット的に柔軟にネットワークを構築し、利用可能とする新たな仕組みであり、自動運転技術への活用、工場内の IT 化、学校教育の IT 化などに活用でき、様々な地域の課題解決やイノベーションに大いに貢献するものと期待されています。

この度、NTT 東日本秋田支店はローカル 5G を活用したユースケースの共創し、社会実装に向けた先端技術育成を目的に、秋田大学に検証環境を提供されます。

eve autonomy は 2023 年 1 月に NTT 東日本のローカル 5G を使ったスマートファクトリーの開発検証環境「ローカル 5G スマートファクトリー&ロジスティクスラボ」の開設にあたり、当社の屋外対応型無人搬送サービス「eve auto」が導入されていることから、一つの具体的なソリューション例として今回秋田大学での開所式でのデモンストレーションとなっております。

---

#### ・関連情報（プレスリリース：2024 年 1 月 24 日）

NTT 東日本のローカル 5G 施設「スマートファクトリー&ロジスティクスラボ」のオープンにあたり「eve auto®」を導入

<https://eveautonomy.com/news/2024/20240124/1081>

### ■秋田大学 AI 研究推進センター開所式詳細

秋田大学 AI 研究推進センター開所式にて、ローカル 5G 及び AI を使った各種展示を行います。

日時：2024 年 3 月 18 日(月) 13:30~14:30

会場：秋田大学手形キャンパス総合研究棟（秋田市手形学園町 1-1）

展示内容：

- ①将来的な労働力不足に備えた屋外対応自動搬送サービス「eve auto」の走行デモ
- ②ローカル 5G とその他通信との伝送速度の比較デモ
- ③ローカル 5G と 4K 高精細映像での遠隔支援作業デモ
- ④ AI を活用した自動運転バス、ロボットアーム、AMR 搬送システム  
AI 検品システムの動画紹介

■自動搬送サービス「eve auto」：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせずに自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での無人搬送運用を実現しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。



自動運転 EV を活用した屋外対応の自動搬送ソリューション「eve auto®」

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://eveautonomy.com/service>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://eveautonomy.com/casestudy>

【主要スペック】

製品名	eve auto(イブ・オート) FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッテリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17%）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12%）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携 等

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy 事業開発部

Mail：[mk@eveautonomy.com](mailto:mk@eveautonomy.com)

Web：<https://eveautonomy.com/contact>

株式会社 eve autonomy

本社：静岡県袋井市久能 3001-10 代表取締役社長：星野 亮介

HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は、「今日から自動化」をスローガンに、工場や物流施設の主に敷地内での屋外搬送業務を、自動運転技術の活用により無人搬送を実現するサービス「eve auto®」を提供するソリューションプロバイダーです。ヤマハ発動機株式会社と株式会社ティアフォーの技術力を結集し、世界最先端の自動運転技術と長年グローバルで培ってきた品質と信頼を基に、社会課題解決に取り組み、世の中の変化に求められるワークスタイルの実現に貢献してまいります。